



No.002

# Smiling

一般社団法人

Kids & Smile 広報紙

カンボジアとアフリカの子どもたちと共に

2020

7月号

## いま、私たちに 求められていること

新型コロナウイルスは、たくさんの涙のもとだった。

たくさんの貴重な命を奪ってしまった。

また、このウイルスが過ぎ去ったとしても、社会、家庭、学校、経済において与えた悪い影響は深い傷となり当分残るでしょう。

しかし、一方、新型コロナウイルスによって私たちはいろいろなことに気づかされました。このコロナウイルスは、悪い影響が多く目立ちますが、私たちに善い気づきも一杯与えています。

その一つは、個人と他人や社会との密接な関係を改めて思い起こさせました。

つまり他の人々が、私にウイルスをうつすと私は確実に病気となり、そして、私も他人にそのウイルスをうつすことになります。

言い換えれば、自分ひとりの事を考えるばかりでなく、同時に他人や私をとりまく社会のことを今まで以上に深く考えます。

たくさんの医療従事者の方々、介護施設で献身的に働く方々は、自分の危険を顧みずに働いています。また、目立たずに他人を癒し生かすために数えきれない程、小さくて大きな恩人が現れています。このコロナウイルスによって人間の素晴らしさが輝いてきました。

そして、Kids&Smile の恩人であるあなたがたが、きれいな心を持って、以前からたくさんの貧しい子どもたちに食物、教育、健康を与えてくださ

Kids & Smile 顧問

ルイス・カンガス s.j.

ていることを再度私に思い出させてくださいました。

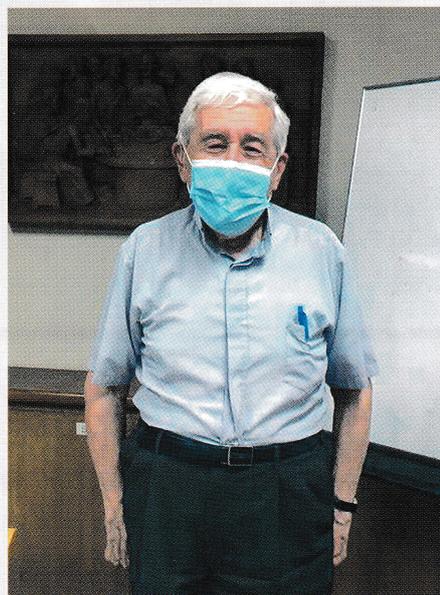


Photo : 原田 聡子

新型コロナウイルスによって、私たちは、毎日の生活の中で当たり前とと思っていることが当たり前ではなく、それは恵みであることに気づかされ、喜び、祈り、感謝を味わいます。今、この状況の中で教えられたことが無駄にならないように、私たちの心の目を開き、一人一人に神が与えてくださる具体的な一つ一つの恵みを味わっていきましょう。

私は、これからもより一層 Kids&Smile の恩人のみなさんとともに、社会と子どもたちの幸せのために助け合っていきたいと思っています。

# 運営状況報告 2020年5月31日現在 【2019.10.1～2020.5.31】

単位：円

収 入	賛助会員他寄付金収入		6,197,384
支 出	聖マリア修道女会アフリカ管区	2,496,190	
	カンボジア シェムリアップ教会	1,452,040	
	聖マリア修道女会 東ティモールプロジェクト	817,922	4,766,152
運営上活動経費	交通費実費	8,796	
	通信費	91,954	
	荷造運賃	1,270	
	振込手数料	97,873	
	事務用消耗品費	64,337	
	印刷費	72,945	
	租税公課	100,152	
	弁護士報酬	88,000	525,327

\* アフリカ：コンゴ民主共和国、カメルーン、タンザニアにおける教育、医療、生活改善資金

\* カンボジア：シェムリアップ教会教区内への教育支援資金

\* 東ティモール：東ティモール地区 Atauro 島への教育、設備等資金

## 東ティモールへの支援

聖マリア修道女会（本部ローマ）総長顧問会のメンバーであるシスター荒井祥恵から、次ようなプロジェクトのご提案を頂き、Kids&Smile の会の趣旨にも合致する活動であることから、支援することにいたしました。

現在、新型コロナウイルスの影響で渡航計画に修正が必要になっておりますが、活動の進捗につきましては定期的ご報告いたします。

### ■実施場所

東ティモールの首都 Dili から 25km のところにある Atauro という小さい島の Vila という集落とその周辺の地域 [P3 地図、写真参照]

### ■活動概要

貧しい人々、特に貧しい女性、青年、子どもたちへの教育等を通じた <sup>\*</sup>empowerment を行う。

### ■支援対象と計画

#### 1. 子どもと青年

- 学校で勉強したことを堅固なものにすることと、統合的教育を強めるための個人そしてグループで行われる補習学習活動
- ポルトガル語、英語、スペイン語学習と補習
- 遊びながら学ぶ活動（青年向けには、自分を知ること、信仰にかかわる教育等）

#### 2. 子どもたちの母親

- 子どもを教育するための助けとなる母親たちのための訓練
- 健康を守り改善することを学べるワークショップ
- 妊娠期間と新生児期間に必要な知識、目的を持った妊娠期・授乳期にある女性たちのためのワークショップ

### ■支援内容

上記支援のために必要な家具等備品と書籍、教材・教具費等として US\$ 7,400 を援助しました。

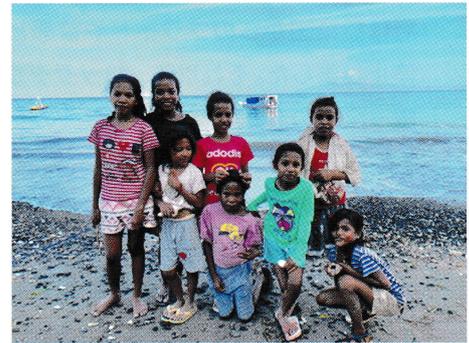
## 東ティモールと Atauro 島



週に一回土曜日に立つ市場、Atauro 島の船着き場の側。干し魚がたくさんある。野菜、果物も多い。



「あんた誰?」「どこから来たの?」「何しているの?」「どこに住んでいるの?」とたくさん質問する子どもたち。



Atauro 島の子どもたち。学校では毎日4時間しか授業がない。放課後は海岸で遊ぶ。外見より年齢は高い。12歳、13歳にはなっている。とても人なつこい。



漁に出る時は、家族全員で出るとのこと。

※ empowerment  
女性が力をつけ、連帯して行動することによって自分たちの置かれた不利な状況を変えていこうとする考え方。



※ この地で empowerment を目的として NGO で学ぶ女性たち。生活の糧を得る方法として、手芸品を作っている。この Atauro 島は観光資源の開発を目指し英語も勉強している。



バナナの幹などを運んでいる Atauro 島の女性たち。

### 新しい国 東ティモール独立までの歩み

東ティモールは、2002年にインドネシアより独立した国です。インドネシア東部に位置するティモール島の東部にあり、人口は約120万人。これまでインドネシアやポルトガルに占領され、第二次世界大戦では日本軍が占領していました。東ティモールが独立を勝ち取るまでの道のりには困難が伴いました。

長い独立闘争や1991年のインドネシア国軍によ

るサンタクルス墓地での大量虐殺事件、独立投票選挙にともなうインドネシア兵の破壊・襲撃行為により、多くの施設や家屋が破壊されるなど悲惨な歴史を経ています。

東ティモールの貧困層は国民の過半数の77万人と推定され、東南アジアの中でもとりわけ貧しい国の一つであるとされています。

## アフリカ通信 コンゴ民主共和国の現況

聖マリア修道女会アフリカ管区長 (Sr.Jesephine) から新型コロナウイルス感染拡大の中でのコンゴ民主共和国の状況と、南キブ州 UVIRA 市 (ブカブから南へ 60 キロ離れたタンガニーカ湖辺の町) で起こった大洪水のレポートが送られてきましたのでご報告いたします。

### 新型コロナウイルス パンデミック

コンゴ民主共和国(以下 DRC)国内で、新型コロナウイルス (以下 COVID-19) が最初に確認されたのは 2020 年3月10日、DRC の首都であるキンシャサでした。DRC は、アフリカの国々の中で COVID-19 の影響を受けた 11 番目の国でした。

パンデミックが始まって以来、州都キンシャサが COVID-19 の震源地となっています。最悪の事態を防ぐため、そしてウイルスの感染拡大を防ぐために、コンゴ政府は感染国からのフライトや首都と州都間のフライトを停止しました。それ以降、ロックダウン、学校や教会は閉鎖、全ての会議やあらゆる集会の一時停止など感染拡大措置がとられました。

私たちの国のインフラ、設備、医療は非常に脆弱であり、地域によってはそれすらも存在しない場合もあります。誰もが、物理的 (身体的) 距離感や衛生対策を重んじて、責任をもって行動することが求められています。それをコントロールすることは難しいということ、私たちはあらかじめ分かっていました。

また、短時間で感染者数が増えるということも分かっています。世界中で何が起きているかを知った時に、この国での健康保険、相互健康保険の不足、様々な形の貧困などを考えると、多くの医療機関で何が起ころかが分かります。私たちは、この COVID-19 を、本当にどうやって切り抜けて生き残っていけば良いのかと考えます。

しかしながら、エボラウイルスの感染大流行を経験したことによって、DRC は近隣諸国よりも何らかの形で感染流行に対応することができました。国の東部、特に北キブでは、住民は防護対策の意識について学び、それをしっかりと受け入れています。

しかし、エボラウイルス感染終了の公式発表を辛抱強く待っていた北キブ地域の人々にとって、この COVID-19 は大きなフラストレーションとなっています。

残念なことに、この地域は COVID-19 に国内で最初に感染した 4 つの州のうちの 1 つで、それと同時に収束したと思われていたエボラウイルスの新しい症例が北キブ州で再検出されました。

なんて悲しいことでしょうか！

私たち聖マリア会がある 4 つの国 (DRC、カメルーン、タンザニア、ケニア) すべてが COVID-19 の影響を受けているだけではなく、DRC で活動している 4 つの地域のうち 3 地域 (キンシャサ、ブカブ、北キブ) が COVID-19 の影響を受けているために聖マリア会のシスターたちは途方に暮れています。

外出禁止令は誰もが理解しているのですが、ほとんどのアフリカ人の日常生活は、市場で小さなビジネス (買い付けや売買) をしたり、細々と農業をしたりすることで成り立っています。外出禁止令は、コロナウイルスよりも早く人々を飢餓で殺すことができます。DRC の感染拡大の震源地となったキンシャサでさえ完全な外出禁止は不可能です。

また、子どもたちの教育にも影響を及ぼします。私たちの国では、電気は少数の地域にのみ存在し、しかも不安定なので、インターネット接続の可能性は低くなります。教師と生徒がコンピュータを持ち、訓練を受けたとしても、オンライン授業をすることは不可能です。必要な設備が不足しているので学校は全てが停止されています。



## ウビラ (Uvira) 市における自然災害

2020年4月17日、南キブのウビラ市の人々は、タンガニーカ湖の氾濫によって、恐ろしい洪水を経験しています。実際、災害は真夜中に始まりました。人々が寝ている間に湖が氾濫し家々が浸水しました。それが原因で多くの人命が失われました。命が助かった多くの人々も、全ての財産を失いホームレスとなりました。それに追い打ちをかけるかのように、4月28日の夜から29日にかけて、二つの地域を結んでいる唯一の主要な橋が崩壊しました。下の写真は、住民たちが経験している深い悲しみを表しています。

ここまで、新型コロナウイルスをはじめとする我が国

の状況について、今私たちがお伝えできることをお話ししました。このような現実にも関わらず、私たちの信仰は素晴らしく、そしていつの日か、全ての喜びと充実感の源である平和が叶えられるであろうと、私たちは確信しています。

私たちにいつも心を寄せてくださっている恩人の皆様ありがとうございます。

編集者付記：なお、COVID-19 感染状況は、3月10日から5月10日前後で感染者850人、死亡者約40人でしたが、最近（6/8時点）のWHOのデータによると感染者数3,877人、死亡者81人でした。



トテット S.J. からのメール

### 厳しい状況下にあるカンボジア

カンボジアでのコロナ感染状況については、落ち着きつつあります。公式発表では総感染者数122人、3週間感染者は確認されず、少しずつ日常をとりもどしつつあります。

(補足：WHO データによると7月6日現在総感染者数156人)

幼稚園、学校は3月17日から5月11日まで全て休みとなっていました。親や子どもたちの強い希望もあり Piak Snaeng 村、Kompong Khleang 村では学校を再開しました。

但し1日1クラス10人までとし、毎日違うグループが通学してくる体制を取っています。子どもたちには一週間分の宿題を渡し、家で学習する方法を取っているため、教員はそれぞれのグループ向けに渡す宿題の準備に追われています。



宿題の説明をする教師と子どもたち



## 新型コロナの影響と異常気象

観光で成り立っているこの国は海外からの観光客が激減しました。世界遺産アンコールワットのあるシェムリアップ市でも観光客は皆無に近く、市内のホテル、レストランは休業し、多くの人が失業し厳しい生活を強いられています。

その収入に頼っていた村人たちは職を失い、Taom 村など4つの村の貧しい家庭は、食料を買うのもままならない状態になっています。シェムリアップ教会も、観光客からの献金がゼロになり困難な状況に置かれています。

今、カンボジアは乾季に当たりますが、今年は例年になく厳しい暑さが続き、ここ数ヶ月間川や水源が干上がっていることは、コロナ感染に加え人々の生活を更に

厳しいものになっています。

感染拡大のため止むを得ずカンボジアを離れ帰国した外国人からの献金 US \$ 1,460 で、これらの貧しい村の特に貧しい 90 家族に約 US \$ 20 のフードパックを届けたりしています。

最後になりましたが、いつもご支援いただきありがとうございます。子どもたちの教材、教具等の準備に使わせていただきます。今、皆様もコロナの影響で困難な日常におられる中、Kids & Smile の皆さんがカンボジアの子どもたちのことを思ってくださいることに心から感謝申し上げます。

2020年5月20日 トテット s.j.



青い袋に入ったお米と油など、フードパックされた食料を受け取る人々。

### 「微笑みとやすらぎのコンサート」中止のお詫び

2020年3月6日に霊南坂教会で、バッハ曲を主としたコンサートを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止せざるを得なくなりました。今回はご期待に応えることができませんでしたが、新型コロナの収束のあかつきには、改めて皆様にご案内申し上げます。

私たちの団体の活動は、皆さまからの会費およびご寄付によって運営されています。私たちの団体の目的に賛同し一緒にアフリカ・カンボジアの未来を築いていく賛助会員を募集しています。

#### 会費

賛助会員 1口 2,000円  
団体会員 1口 10,000円

#### ご寄付の方法

##### 【郵便振込の場合】

郵便振替口座 00110-1-265940  
加入者名：Kids & Smile

##### 【銀行振込の場合】

みずほ銀行麹町支店  
普通預金口座 店番号 021 口座番号 1520434

その他、随時のご寄付については、何時でもお幾らでも感謝のうちにお受けいたしております。支援して下さる全ての方に、年2回発行の会報誌およびイベントのご案内などをお送りいたします。



一般社団法人

**Kids & Smile**

〒105-0004 東京都港区新橋4丁目5-15  
新橋新和ビル8階 TEL.03-4405-4067

<http://www.kids-and-smile.or.jp/>

E-mail: [info@kids-and-smile.or.jp](mailto:info@kids-and-smile.or.jp)

法人設立年月日 2018年10月12日